

附 錄

東京高等商業學校一橋會規則

第一章 名稱

第一條 本會ハ東京高等商業學校一橋會ト稱ス

第二章 目的

第二條 本會ハ會員ノ親睦ヲ厚フシ體育ノ隆盛ヲ謀リ智識ノ交換ト徳性ノ涵養トヲ務メ以テ本校ノ校風ヲ發揮センコトヲ期ス

第三章 組織

第三條 本會ハ本校職員出身者學生及生徒ヲ以テ組織ス

第四條 本會ノ目的ヲ達センカ爲メ左ノ諸部ヲ置ク

編纂部 英語部 研究部 端艇部

庭球部 柔道部 劍道部 弓道部

第五條 各部ノ細則ハ各部ニ於テ之ヲ定ム

第四章 會員

第六條 會員ヲ分チテ通常會員及特別會員トナス
 第七條 本校本科學生、豫科及養成所生徒ハ當然通常會員タルモノトス
 本校職員及出身者ハ之ヲ特別會員トス但シ專攻部學生及特別生ハ志望ニヨリ通常會員タルコトヲ得

第五章 役員

第八條 本會ハ左ノ役員ヲ置ク

會長 一名 會計主任 一名 理事 八名

此外必要アル場合ニハ監事ヲ置クコトヲ得各部ニハ部長一名幹事委員各若干ヲ置ク

第九條 會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

會計主任ハ本會會計ヲ掌ル

監事ハ理事會ヲ補佐ス

理事ハ本會一般ノ事務ヲ掌ル

各部々長ハ其部ノ役員ヲ指導ス

各部幹事ハ主トシテ其部ノ常務ニ當ル

各部委員ハ其部ノ幹事ヲ補佐ス

第十條 會長ハ本校々長之ニ任ス

會計主任ハ本校會計課主任之ニ任ス

監事ハ理事會ニ於テ之ヲ推薦ス

理事ハ各部ニ於テ其幹事中ヨリ各一名ヲ互選ス

部長ハ各部ニ於テ職員中ヨリ推薦ス

幹事ハ各部ニ於テ其委員中ヨリ選出ス

委員ハ各部ニ於テ會員中ヨリ選出ス

第十一條 會長及會計主任ヲ除キ役員ノ任期ハ之ヲ一ケ年トシ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル役員ノ改選期ハ毎年二月トス

第六章 集會

第十二條 集會ヲ分チテ總會、理事會、部會及大會トナス

第十三條 定期總會ハ會長ノ招集ニヨリ毎年春秋二期ニ一回ツツ之ヲ開キ本會ノ狀況ヲ報告シ其他本會ニ關スル重大ナル事項ヲ評決ス

第十四條 臨時總會ハ必要アル場合ニ理事會ノ決議ニヨリ之ヲ開クコトヲ得

附

通常會員三分ノ一以上ヨリ會議ノ事項ヲ明示シ臨時總會開催ノ要求アリタルトキハ理事會ハ會長ニ申請シ一週間以内ニ之ヲ開クコトヲ要ス

第十五條 理事會ハ會長監事及理事ヲ以テ構成シ少クトモ毎月一回之ヲ開キ豫算ノ協議其他本會ニ關スル一般ノ事項ヲ評決ス

理事會ニ於テハ會長之カ議長トナリ會長缺席スルトキハ監事之レニ代リ監事モ亦缺席スルトキハ出席セル理事中ヨリ互選ヲ以テ議長ヲ定ム

第十六條 部會ニ關スル事項ハ各部ノ細則ニ於テ之ヲ定ム

第十七條 大會ハ本校創立記念日ニ於テ之ヲ開キ主トシテ本科二年ノ各部署員ニ其事務ヲ委任ス

第七章 決議

第十八條 各集會ニ於テ凡ソ事項ヲ決議スルニハ其會員過半數ノ出席ヲ要ス

第十九條 凡テ決議ハ多數決ニ依ル可シ可不同意ナルトキハ議長之ヲ決定ス

第八章 會計

第二十條 本會々計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ルモノトス

第二十一條 本會ノ豫算ハ理事會之ヲ決定シ定期總會又ハ雜誌若クハ揭示ヲ以テ會員ニ公示ス

第二十二條 通常會員ハ會費トシテ毎年金五圓ヲ納付スルコトヲ要ス
特別會員ハ會費ヲ要セス

第二十三條 通常會員ハ入會ノ年入會金トシテ金貳圓ヲ納付スルコトヲ要ス

第二十四條 本會及各部ノ經費ハ總テ豫算ニ依ルニ非レハ支出スルコトヲ得ス

第二十五條 本會ノ決算ハ翌會計年度ノ始ニ於テ理事會之ヲ審査シ定期總會及雜誌又ハ揭示ヲ以テ會員ニ公示ス

第二十六條 支拂命令及會計ノ監査ニ關スル事項ハ會計細則ニ之ヲ定ム

第二十七條 本會ハ毎年積立金ヲナス

第二十八條 本會ハ本校ニテ催ス修學旅行ニ對シ本會員ノ爲メ其費用ノ一部ヲ負擔スルコトアルヘシ

第二十九條 各部ニ於ケル豫算以外ノ經費ヲ要スルトキハ理事會ノ決議ニヨリ臨時ニ會員ヨリ徴收スルコトヲ得

第九章 補則

録

附

録

第三十條 本會々員ノ本分ニ背ク者ハ理事會ノ決議ニヨリ會長ニ具申シテ相當ノ處分ヲナス可シ

第三十一條 本會規則ノ改正ハ少クトモ總會ノ一週前ニ通常會員三十名以上ヨリ提出シ理事會ニ於テ決議シ更ニ總會ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス

一橋會會計細則

第一章 役員

第一條 本會一般會計事務ニ就テハ理事中ヨリ二名ノ會計理事ヲ互選シテ之ヲ處理セシム

第二條 各部會計事務ニ就テハ幹事中ヨリ一名ノ會計幹事ヲ互選シテ之ヲ處理セシム

第三條 本會會計出納事務ハ之ヲ本校會計課ニ囑託ス

第二章 豫算

第四條 豫算案ハ一般會計ニ就テハ會計理事各部會計ニ就テハ其部之ヲ編成シ理事會之ヲ評決ス

第五條 豫算ノ評決ハ先ツ其年度ノ收入ヲ査定シ次ニ積立金其他既定ニ屬スル

經費項目金額ヲ收入中ヨリ控除シ次ニ本會一般ニ關スル支出ヲ査定シ最後ニ各部ヨリ提出セル支出豫算案ヲ査定スルモノトス

確定收入カ確定支出ヲ支辨シテ尙剩餘アルトキハ之ヲ豫備金トス

第六條 會計理事ハ確定豫算ノ謄本ヲ作り會長會計主任、監事及各部長ニ各一葉ヲ送付スルモノトス

第三章 收入

第七條 會費及入會金ハ每學年四月、九月ノ二期ニ分チ授業料ト共ニ本校會計課ニ納付スヘシ

第八條 會計主任ハ納付者ニ對シ會費ノ領收證ヲ交付シ且ツ毎日ノ收入ヲ會長ニ報告スルモノトス

第九條 會費ノ納付ヲ遅延スルコト一ヶ月以上ニ及フ者ハ揭示ヲ以テ之ヲ督促シ尙之ヲ納付セサルトキハ保證人ニ向テ直接請求スルモノトス

第十條 會計主任ハ會費其他何等ノ收入ヲ間ハス手許有金三十圓以上ニ達スルトキハ直チニ所定ノ銀行ニ預入ル、コトヲ要ス

第十一條 會費其他ノ收支ハ會長ノ名義ヲ以テ所定銀行ノ當座預金トナシ積立

金ハ定期預金トス

第十二條 定期預金ノ利子ハ凡テ積立金中ニ組入ル、モノトス

第十三條 有志者ヨリ寄贈セラレタル金品ハ寄贈者ノ目的ノ範圍内ニ於テ之ヲ處分ス

附 錄 第四章 支出

第十四條 本會一般會計ニ屬スル經費ハ會計理事ノ要求ヲ以テ會計主任之ヲ支出ス凡テ各部ニ屬スル經費ハ其部ノ會計幹事ノ請求ヲ以テ會計主任之ヲ支出ス

第十五條 會計理事及會計幹事ハ經費ノ支出ヲ受ケント欲スルトキハ自ラ會計課ニ出頭シテ經費ノ金額及用途ヲ述ヘ支出原簿ニ捺印又ハ署名ノ上會計主任ヨリ支拂ヲ受クルモノトス

前項ノ金額カ十圓以上ナルトキハ會計理事又ハ會計幹事ハ經費ノ金額及用途ヲ明記且署名シタル支出請求書ヲ以テ一日前ニ豫告ヲ與フルモノトス

第十六條 凡テ預金ノ引出ハ會計主任ヲ經テ會長之ヲ行フ

會計主任ハ會計理事又ハ會計幹事ノ提出セル支出請求書ヲ會長ニ交付シ必要

附 錄

ナル金額ノ引出ヲ請求スヘシ

第十七條 豫算以外ニ緊急ノ支出ヲ要スルモノアルトキハ理事ノ決議ヲ以テ會計理事ハ第十六條第二項ノ規定ニ從ヒ豫備金ノ支出ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニハ會計主任ハ其支出請求書ヲ會長ニ示シテ其承認ヲ經ルコトヲ要ス

第十九條 當年度豫算成立前ニハ已ムヲ得サル事由アルトキニ限り理事會ノ決議ヲ以テ會計理事ハ前年度繰越金又ハ當年度收入ノ支出ヲ請求スルコトヲ得前項ノ支出ハ豫算編成ニ際シテハ豫算成立後ニ支出シタルモノト看做ス本條ノ支出ノ手續ニ關シテハ前條ノ規定ヲ準用ス

第五章 帳簿

第二十條 會計理事及會計幹事ハ各帳簿ヲ備ヘテ所管ノ會計ヲ記録スヘシ

第二十一條 會計主任ハ次ノ帳簿ヲ備ヘ明瞭ニ之ヲ記録スヘシ

一、現金出納簿

二、會費及入會金元簿(會員人名分ケ)

三、支出原簿(各部及項目分ケ)

會計主任ハ會費收納期ニ於テ尙收入金日計表ヲ作製スヘシ

第六章 監査

第二十二條 會長ハ何時ニテモ會計主任ニ命シテ會計ノ現状ヲ報告セシメ且ツ自ラ金庫及一切ノ帳簿ヲ臨檢スルコトヲ得

第二十三條 會計理事ハ會計主任及會計幹事ノ執務ヲ監督シ又一學期ニ一回以上會計主任ト立會ノ上會計ノ現状ヲ調査シ帳簿上ノ殘高ト現金ノ有高トヲ照合シ之ヲ理事會ニ報告スルモノトス

第七章 決算

第二十四條 各部ニ於ケル剩餘金ハ之ヲ本會一般會計ノ繰越金トス

第二十五條 會計主任ハ翌年度四月十五日迄ニ會計理事及會計幹事ヨリ各所管會計ノ當年度收支決算報告ヲ徴シテ理事會ニ提出スルコトヲ要ス

第二十六條 會計主任ヨリ提出シタル決算報告ヲ審査スル爲メ理事會ハ決算委員ヲ選出シ四月二十日迄ニ之ヲ調査報告セシム

決算委員ハ會計理事以外ノ理事中ヨリ之ヲ選任ス

一橋會各部委員選舉規定

附

錄

附

錄

第一條 一橋會通常會員ハ總テ選舉權及被選舉權ヲ有ス

第二條 選舉ハ投票ニヨリ之ヲ行フ

投票ハ記名トシ一人一票ニ限ル

第三條 クラス會ヲ以テ選舉區トシ其選舉區ヨリ各部一名ノ委員ヲ選出ス但同一年度入學ノ組員ヲ以テクラス會ヲ組織ス

第四條 選舉ニ當リ本科二年以下ニアルモノニシテ所屬クラス會ナキモノ又ハ委員選出ノ要ナキ年度ノクラス會ニ屬スルモノハ同年級ニ於テ原クラス會ニ該當スルクラス會ニ屬スルモノトス此場合ニ於テハ其クラス會選舉管理者ニ其旨ヲ通知スヘシ但シ特別ノ便宜アルモノハ其便宜アルクラス會ノ選舉管理者ノ承認ヲ得テ該クラス會ニ屬スルコトヲ得

第五條 各クラス會ハ三名ノ選舉管理者ヲ選定シ選舉ニ關スル事務ヲ擔任セシム

第六條 本三各組首席ノモノヲ以テ立會人トス

第七條 選舉管理者ハ責任ヲ以テ投票ヲ集メ立會人ノ下ニ差出スヘシ

第八條 立會人ハ一定ノ場所ニ選舉管理者ヲ召集シテ開票セシム

第九條 立會人ハ當選者及次點者ノ得點數及氏名ヲ發表スルコトヲ要ス

第十條 最高點者ヲ以テ當選者トス

同點者ヲ生シタルトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

抽籤ハ立會人之ヲ行フ

第十一條 選舉ノ期日ハ理事會ニ於テ之ヲ定メ少クトモ七日前ニ之ヲ發表スルコトヲ要ス

- 第十二條 投票所ハ校内タルコトヲ要ス
- 第十三條 投票者カ各クラス會員數ノ三分ノ二ニ充タサルトキハ其選舉ヲ無効トシ三日以内ニ再選舉ヲ行フ
- 第十四條 投票用紙ハ理事會ニ於テ選舉管理者ニ交附スルモノトス
- 第十五條 同一人ニシテ二部以上ノ委員ニ當選シタルトキハ本人ヲシテ其一ヲ擇ハシム
- 第十六條 委員ニ缺員ヲ生シタル場合ニハ次點者ヲ以テ之ニ充ツ
- 但シ必要アルトキハ補缺選舉ヲ行フコトヲ得
- 補缺選舉ノ方法ハ本規定ヲ準用ス

特別委員ニ關スル規程

各部委員會ハ其部ノ事務執行上必要アル場合ニ於テハ會員中ヨリ該事務執行ニ適當ナル者若干名ヲ選ヒ理事會ノ承認ヲ得テ委員トナスコトヲ得

但該委員ハ理事會ノ選舉權及被選舉權ヲ有セス

東京高等商業學校同窓會規則

第一條 本會ハ東京高等商業學校同窓會ト稱ス

第二條 本會ノ目的ハ東京高等商業學校ニ關係アル學友ノ親睦ヲ厚フシ且我國商業ノ振興ヲ謀ルニ在リ

第三條 本會ノ會員タルヲ得ル者ハ左ノ資格ヲ備ヘタル者ニ限ル

- 一 東京高等商業學校、舊高等商業學校、舊東京商法講習所、舊東京商業學校、舊商工徒弟講習所、舊主計學校及商業教員養成所ノ卒業生
- 二 曾テ前記諸校ニ在學セル者ニシテ本會常議員會ノ特選又ハ承認ヲ經タル者

第四條 本會ニ客員及會友ヲ置ク

客員ハ東京高等商業學校在職中ノ教職員トス

會友ハ東京高等商業學校現在學生生徒トス

第五條 本會ハ事務所ヲ東京高等商業學校内ニ置ク

第六條 本會ハ在京濱會員中ヨリ常議員六拾名ヲ選舉シ一切ノ會務ヲ處理セシム但内少クモ貳名ハ東京高等商業學校現職員中ヨリ選舉スルモノトス

第七條 常議員ノ任期ハ二箇年トシ春季總會ニ於テ其半數ヲ改選スルモノトス
但再選スルコトヲ得

第八條 各支部幹事横濱ヲ除クハ常議員會ニ出席シ決議ノ數ニ加ハルコトヲ得
但シ決議權ハ一支部一個トス

第九條 常議員ニ缺員ヲ生シタルトキハ次ノ總會ニ於テ補選スヘシ

第十條 常議員ハ互選ヲ以テ幹事五名ヲ設ケ日常ノ事務ヲ取扱ハシム

第十一條 本會ノ事務ニ係ル細則ハ常議員會ニ於テ之ヲ定ム

第十二條 本會ハ毎年四回以上會誌ヲ發行シ會員及ヒ客員ニ頒ツ

第十三條 本會ハ毎年春秋二回總會ヲ開ク其費用ハ當日出席者ヨリ之ヲ徵收ス
但常議員會ニ於テ必要ト認ムルトキハ臨時總會ヲ開クコトヲ得

特ニ緊急ノ場合ヲ除クノ外總會ノ通知ハ在京濱會員及國內各支部ニ對シ少ク
トモ會日一週間前ニ之ヲ發スルモノトス但常議員會ニ於テ其必要アリト認メ
タル議案アルトキハ國內在住ノ會員全體ニ對シ少クトモ會日二週間前ニ之ヲ
發スルモノトス

第十四條 總會ニ於テ議決ヲ要スル事件アルトキハ出席會員半數以上ノ同意ヲ

以テ之ヲ決ス

前條第二項但書ノ場合ニ於テ總會ニ缺席スル會員ハ書面ヲ以テ出席會員ニ決
議權ノ行使ヲ代理セシムルコトヲ得

第十五條 會員ハ會費トシテ年額金四圓ヲ四月十月ノ二回ニ前納スヘシ但東京
高等商業學校本科及商業教員養成所卒業生ニシテ卒業後二ケ年ヲ經過セサル
會員及現ニ東京高等商業學校專攻部在學ノ會員ハ會費ヲ半額トス
會費完納者ニシテ一時ニ金五拾圓以上ヲ納ムルトキハ以後前項ノ會費ヲ徵セ
ス

第十六條 前條第一項ノ會費金四圓ノ内金貳圓及同項但書會費ノ内金壹圓及ヒ
同條第二項ノ一時納入金五拾圓以上ノ内金參拾圓以上ハ本會基金トシテ之ヲ
積立ツルモノトス但基金ノ保管及利殖ノ方法ハ常議員會ノ決議ニ依テ之ヲ定
ム

基金ヨリ生スル利息ハ基金利息積立金ノ名義ノ下ニ積立テ置キ常議員會ノ決
議ニ依テ之ヲ處理ス

基金ノ處分ハ總會ノ決議ニ依ルモノトス

第十七條 入會及退會ヲ欲スル者ハ其旨幹事へ申込ムヘシ
 第十八條 會員其姓名住所職業ヲ變更シタルトキハ必ス幹事ニ報告スヘシ
 第十九條 會員ニシテ本會ノ體面ヲ汚スノ行爲アル者及會費ヲ拂ハサルコトニ
 同以上ニ及フ者ハ除名ス

第二十條 會員ニシテ一旦退會シ又ハ除名サレタル者ハ常議員會ノ承認ヲ經ル
 ニ非サレハ再ヒ入會スルコトヲ得ス
 第二十一條 本會ハ地方ニ支部ヲ置クコトアルヘシ
 第二十二條 本規則ノ改正變更ヲ要スルトキハ會員拾名以上ノ同意ヲ得テ總會
 へ提出スヘシ

同窓會一覽表 (大正八年六月二十日現在)

本部所屬	支部所屬	合計
二四五八名	二二〇七名	四六六五名

名稱 創立年月 會員數

附	錄	附	錄
橫濱	三十二年五月	一七五	
大阪	同上	四四五	
神戸	同年九月	三九〇	
上海	同上	一一〇	
孟買	同上	四七	
京都	三十三年九月	五〇	
名古屋	同年十月	九〇	
長崎	三十四年一月	四三	
臺北	同年十月	三三	
里昂	卅五年十一月	一〇	
關門	同上	八八	
龍動	三十六年五月	六七	
天津	三十七年九月	三一	
香港	三十八年十月	四四	
紐育	三十九年三月	一一六	

附

錄

仁川	同年七月	八
漢口	同年十一月	二四
京城	四十年五月	三二
廣島	同年十一月	一六
小樽	四十一年一月	二八
桑港	同年三月	二七
大連	同上	九八
新潟	同上	一三
三池	四十二年七月	二四
安東縣	同上	四
北京	四十三年七月	二二
釜山	同年九月	一八
臺灣南部	同年十一月	二六
橫浦	大正二年三月	一一
新嘉坡	大正三年六月	四三

一八

附

錄

青島	大正四年九月	二三
甲谷陀	大正六年一月	二七
函館	大正七年一月	二四
支部會員數通計		二二〇七